

よりよいこれからの生き方をお考えの方に

ゆかり通信

Vol.116

新年号

2023年1月15日

この冊子はエデンの園ゆかり会
会員の方に年4回お届けしています。

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 高齢者公益事業部 **エデンの園**「ゆかり会」情報誌

特集

藤沢エデンの園

■生活サービス課



interview 中尾 淳 石山隼士 紅林和也



エデンの食卓
ある日のお食事



エデンの暮らし
周辺の初詣マップ・共用部のご紹介

2023年
新年の
ご挨拶



新年のご挨拶



聖隷福祉事業団
理事・常務執行役員
高齢者公益事業部長

平川 健二

新しい年を迎えて

あけましておめでたいございます。
ゆかり会の皆さまには、お健やかに初春をお迎えることとお慶び申し上げます。

今年の明るい話題は東京麻布に日本一高いビルが完成します。高さは323メートル。東京タワーの333メートルに迫る高さのビルが私たちの周りに建つ時代となったようです。私が子供の頃の高いビルといえばサンシャイン池袋。完成当時、下から見上げてジャックと豆の木の世界にきたような錯覚を感じたことを憶えています。そのサンシャイン池袋が着工されたのが50年前の1973年。そして同じ年に完成したのは浜名湖エデンの園です。

有料老人ホームという名前も無かった当時、病気になっても、介護が必要になっても、人生最後の行程を幸せに暮らすことの願いを実現するため、エデンの園は誕生しました。ご入居者の安心と安全を守ることを昔も今も最大の使命としています。

ゆかり会の皆さまには、是非エデンの園にお越しください。そつした私たちの歴史も感じていただければ幸いです。
皆さまにとりまして本年が素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。



油壺エデンの園
園長

笹ヶ瀬 慶造

ウィズコロナ時代を 入居者、 職員とともに

あけましておめでたいございます。

穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、コロナ禍・フライング問題・物価高と自分たちの生活や心に押し掛かる出来事が続きました。そのような中でも、NHKドキュメント2時間の番組歴代ベストテンにおいて「海が見える老人ホーム」が視聴者投票第3位の評価をいただき、あらためて自立型施設の素晴らしさと施設理念にある「ひとり一人とこぢみく共に暮らす」の心持ちを広く伝えることができました。本年も入居者の皆さまが安心して「こぢみくお暮らし」いただけるよう職員一同で努力してまいります。

皆さまにとって、素晴らしい1年となりますよう、お祈り申し上げます。



浦安エデンの園
園長

安達 美由紀

新年のご挨拶

あけましておめでたいございます。
ゆかり会会員の皆さまにとりまして、幸多き年となりますよう、お祈り申し上げます。

浦安エデンの園は、おかげさまで昨年7月に15周年を迎え、ご入居者と共にお祝いしました。写真の折花飾りは15周年を記念し、ご入居者と職員が一緒に作成したものです。園内に彩を添えてまいります。

この節目を機に、施設理念「ご入居者を真ん中においた生活の創造」を基本とし、ご入居者が安心して生活できる「お職員同、更にサービスの質の向上に努めてまいります。」
当園は、都心に近く利便性が高い中でも静かな住宅街に位置し、住みやすい立地だと感じております。ぜひ一度、浦安エデンの園にお越しください。皆さまの「来園を心よりお待ちしております。」



高齢者公益事業部
運営管理部長

村井 康隆

着任のご挨拶

新年にあたり、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祝い申し上げます。

昨年10月1日付で高齢者公益事業部運営管理部長に着任いたしました村井康隆むらゐらやすたかと申します。どうぞよろしくお願いたします。

聖隷福祉事業団に就職し、これまで医療事業、健診事業に従事したあと、油壺浜名湖エデンの園、松戸・奈良・ツセイエデンの園と4つの施設で仕事をさせていただきました。コロナウイルスの感染はなかなか終息の時を迎えませんが、ご入居者の皆さまがエデンの園で安心して楽しくお暮らしいただけるよう、事業運営に尽力していきたいと思っております。

施設見学も万全な感染対策をおこなっておりますので、ゆかり会の皆さまも是非エデンの園にお越しください。マスク越しではございますが爽やかで優しい笑顔の職員がお迎えています。



浜名湖エデンの園
園長

溝口 吉

開園50周年

あけましておめでたいございます。
ゆかり会の皆さまにおかれましては、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2023年の今年、浜名湖エデンの園は開園50周年を迎えます。5月1日の50周年記念式典に始まり、1年を通してご入居者と職員が共に四季折々の50周年記念行事を盛り上げていきたいと考えております。
浜名湖エデンの園は2020年5月に新1号館が完成しましたが、新型コロナウイルスの影響であらゆる面で自粛を余儀なくされてきました。ゆかり会の皆さまにも新しくなった当園をまだご覧になっていない方が多くいらっしゃるのでは、と思います。どうぞこの50周年の記念の時に、浜名湖エデンの園を見て、感じて、共に祝っていただけましたら幸いです。

本年も皆さまにとりまして幸多き1年になりますよう、お祈り申し上げます。



横浜エデンの園
園長

小久保 ゆき

ひとりひとりの 笑顔のために

明けましておめでたいございます。
ゆかり会の皆さまにとって幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

横浜エデンの園では、全居室見守りシステムを設置し、今年度から運用を始めました。これにより「人でなければできないこと」に注力し、「人でなくてもできること」はICTに任せ、温かみがあり、科学的な視点を持った介護を実践し、ご入居者の笑顔溢れる暮らしを支えていきたいと考えています。

さて、2023年3月に相鉄東急直通線が開通し、横浜・東京間の利便性が高まると言われています。これを機に多くの方々へ横浜エデンの園に「来園ください」ことを心よりお待ちしております。

本年もどうぞよろしくお願申し上げます。



聖隷藤沢
ウェルフェアタウン
総園長
藤沢エデンの園
一番館 園長

若野 倫義

是非、藤沢へ お越しください

明けましておめでたいございます。
ゆかり会会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

藤沢エデンの園では「おもてなしの心」「隣人愛」の気持ちを中心に、職員一同、ご入居者の皆さまが安心、安全にお過ごしいただけるよう取り組んでおります。

ご藤沢は観光地・江ノ島もある湘南を代表する街の一つで、交通の便も良く商業施設等の充実度と自然の豊かさがバランス良く兼ね備えられた街で、本当に住みやすい街大賞にも選ばれました。地域の人の柄もあたたかく移住先としても人気があります。このような環境にある藤沢エデンの園に、是非一度、「見学」にお越し下さい。
本年も皆さまにとって良き1年となりますよう、お祈り申し上げます。



宝塚エデンの園
園長

請川 哲也

「ワンチーム」を再び

ゆかり会の皆さま、あけましておめでたいございます。

昨年は、コロナ禍における様々な制限等が長く、中シニア・ウクライナ戦争や資源価格の高騰など暗い話題が続きましたが、何よりもご入居者・職員とともに笑顔で新年を迎えられたことに感謝しております。

今年は、ラグビーワールドカップがフランスで開催されます。4年前の大会で、日本中が日本チームの活躍に泣いて笑ってガッツポーズしたことを、つい昨日のことのように思い出します。

建て替えという大きな変化を迎える宝塚エデンの園では、何よりもご入居者の安心・安全を最優先に「ワンチーム」となつて邁進してまいります。

皆さまにとって本年が素晴らしい1年となりますよう、お祈り申し上げます。



松山エデンの園
園長

橋本 美穂

愛の溢れる エデンの園に

ゆかり会の皆さま、あけましておめでたいございます。

2023年10月愛媛県では「ねんりんを重ねた愛顔」(えがお)伊予に咲くというテーマでねんりんピックが開催されます。また大会目標の一つに60歳以上でも健康寿命を実感し、生涯現役に繋がる大会」とあります。エデンの園のご入居者及びゆかり会員の皆さまも共通する部分でもあり、この松山の地で皆さまが愛顔(えがお)で暮らし、健康や生きがいを実感していただける施設創りに取り組んでまいります。

美味しい手作りランチ付きの見学会を随時受付けておりますので、是非一度松山エデンの園へお越しください。
皆さまにとりまして幸多き1年になりますようお祈り申し上げます。

※「愛顔(えがお)」：前向きな気持ちと思いやりの心が結集した愛のある笑顔(愛顔)



藤沢エデンの園
二番館 園長

江口 洋

新たな挑戦

あけましておめでたいございます。
皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年、藤沢エデンの園 一番館は開設13年目を迎えます。卯年は新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。また、兎は「跳ねる」特徴があるため、景気が回復するとも言われています。当園でも新しい機器の導入や取り組み、イベントの企画にも挑戦してまいります。今まで以上に園内での取り組みや生活の様子などをお伝えできるような機会も増やしていきたいと考えております。

本年も施設理念「笑顔あふれる幸せの街づくり」を心持ちにご入居者やご家族の皆さまに「安心・安全なサービス」をご提供すべく、職員一同、全力で努めてまいります。
本年もよろしくお願申し上げます。



高齢者公益事業部
入居者募集
センター長

細田 成則

募集活動に ご期待ください

あけましておめでたいございます。
ゆかり会の皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は感染対策をとりながら形をかえ募集活動をしてまいりました。おかげさまで、施設見学も様子を見ながらではありますが対応させていただきましたことができました。今後、ホームページやゆかり通信を通じて、ご入居者、職員のリアルな様子をお届けしたいと考えております。今後、より詳細な見学会やセミナーなどが開催されることになると思っております。期待してお待ちください。なお、今年はエデンの園50周年の記念の年となります。培ってまいりました伝統とICT化などの取り組みにより、ご入居者には安全で安心に生活を送っていただけるよう継続してまいります。
本年もどうぞよろしくお願申し上げます。

入居者の「ありがとう」に「ありがとう」で応えたい

緑が溢れ、生活利便性の高い湘南ライフタウンに位置する

高齢者複合施設「聖隷藤沢ウエルフェアタウン」。

その中のひとつ、住宅型有料老人ホーム「藤沢エデンの園一番館」の

生活サービス課で働く3人に、

ご入居者との関わり方や仕事への思いを聞いた。

藤沢エデンの園
生活サービス課

なか お じゅん
中尾 淳
(33歳)



きっかけは夜間警備の仕事 人と触れ合う中で転職を決意

私と「藤沢エデンの園」との出会いは全くの偶然です。フリーのプログラマーだった私は家で仕事をする事が多く、外で働く機会を求めて始めた警備会社の派遣先が「聖隷藤沢ウエルフェアタウン」でした。まず驚いたのは、私が抱いていた老人ホームのイメージとは全く違う、ホテルのような綺麗な建物。夜警室にいと、ご入居者と触れ合う機会も多く、経験豊富なお話を聞くのも楽しくなりました。ご入居者のために一生懸命働く職員の姿を見ているうちに「ここで

働きたい」と思うようになり、転職を相談したのです。園の方からは、「中尾君なら是非。大歓迎」と言われ採用していただいたことはもちろん、自分の仕事ぶりをしっかり見てくれたことが嬉しかったです。入社3年目で観察力の大切さを痛感する今日この頃、職員全員がご入居者の些細な変化に目を配る姿勢は本当に凄く思います。

死と向き合うことの不安 だからこそ、毎日全力で

正直、不安もありました。夜警の仕事をしているとき、毎晩話をしていただいた方が翌日お亡くなりになって

いたことがありました。ここで働くことは、そういうことと背中合わせなのだと思います。採用面接のとき、その不安を伝えると、「お元氣そうな方でもいつ何時、何が起きるかわかりません。だからこそ毎日全力で対応しています」と言われ、それがご入居者のために一生懸命働く職員の姿と重なり、「そういうことなんだ。自分も逃げずに向き合っていこう」と決意を固めました。それは今でも常に意識しています。

相談しやすい雰囲気作り 足を運ぶことでの安心感

生活サービス課の仕事は、フロント業務(受付や

相談、困り事の対応、食事予約受付、大浴場の準備、緊急時の受診付き添いなど、多岐に渡ります。フロントでは、できるだけ声を掛けやすい、相談しやすい雰囲気作りを心掛けています。お困り事の対応では、できるだけ足を運ぶことを意識しています。例えばテレビが見られないとき、単純に線が抜けていて電話で済むことも、直接顔を見て対応する方が、ご入居者が安心します。ここでは、自分の常識にとられない、お一人おひとりの性格や体調を考慮した対応が大事なので、お名前前で声を掛けるのももちろん、話すスピードや声の大きさも合わせます。また、一番館は自立型施設なので、サポートし過ぎないのもポイントです。

「これからも、ご入居者が笑顔になる瞬間を多く届けたい」と思います。

ご入居者と職員の垣根を越え 「ありがとう」を言い合える関係に

私たちの仕事は、何かお手伝いする度に「ありがとう」と言っていたり、機会が多いのですが、私も相談していただき「ありがとう」を言っています。「行事に参加していただきありがとうございます」と事あるごとに感謝の言葉を返すようにしています。力仕事が得意な私は、マットレスの向きを変えることもよくあるのですが、「今度からあなたが出勤している日に頼むわ」と言われた時は、「ありがとう」を言っています。「と満面の笑顔で応えました。ご入居者とは常に「ありがとう」を言い合える関係でいたい、それが私の信条です。

生活サービス課には支援系の業務もあり、今後は介護の知識も高めながら、課内の全ての業務ができるようになりたいと考えています。最近、介護職員初任者研修の修了資格も取りました。一緒に働く先輩たちは介護職を経験しているので、とても勉強になります。また、聖隷福祉事業団はICTの導入にも積極的なので、プログラマーの経験を生かし、IT関係でもエデンの園に貢献したいですね。偶然の出会いが、私の天職になりました。人生、何が起きるかわかりません。

藤沢エデンの園は、実際に働いている私が、老後に入居できたらいいなと思う施設です。ご入居いただければ、笑顔になっていただけるよう全力で対応しますので、検討よろしくお願いたします。

この仕事を選んでよかった ご入居者が笑顔になる瞬間を

私は通常業務の他に、主に行事係を担当しています。コロナ禍前は様々な催しがあったのですが、私が入職してからは、クリスマスや七夕などの飾りつけと一緒にするのが精一杯。今年の夏、3年ぶりのイベント復活第一弾として、外出企画を初めて担当しました。職員と一緒に近くの公園まで歩く企画ですが、体力的に不安のある方にもご参加いただき、杖をつき、時には職員と手をつなぎながら、「本当に気持ちいい。もう何年も外に出ていないので、すごく嬉しい。ありがとう」と笑顔で喜んでいただき、「この仕事を選んでよかった」と心の底から思いました。藤沢エデンの園には、園芸の先生のご指導の下、種を撒き、育て、お花を摘む「園芸を楽しむ会」があります。私も運営に携わり、ご入居者の楽しそうな姿に触れる度に、





入居者の
善き隣人でありたい



藤沢エデンの園
生活サービス課
係長心得

いしやまはやと
石山 隼士
(31歳)

藤沢エデンの園に異動して5年目になります。以前の介護職と異なり、生活サービス課では、ご入居者の生活支援が主な仕事です。食事や行事など各種申し込み受付や病院の付き添い、電球の交換やスマートフォンを使い方などのお困り事の対応のほか、ご家族との関係やお墓について相談を受けることもあります。ご家族よりも接する機会が多い私たちは、ご入居者が施設で生活する上での善き隣人でありたいと考えています。そのためにも、何でも相談しやすい環境を作るのももちろん、「今日は元気ないな、いつもと違うな」など、些細な変化に気づけることが大事です。サービスを提供する側、される側という壁をできるだけ無くすよう心がけています。

私は、福祉(ふくし)を、(ふ)普段の(く)暮らしの(し)幸せと捉えています。特に特別な何かではなく、普段の生活を幸せに自分らしく暮らしていただくのが、私どもの願いです。藤沢エデンの園は交通の便が良く、海やお買い物、行きたい場所にすぐ行ける、これまでの生活と変わらず暮らせる立地が特長です。全国にあるエデンの園で様々なノウハウを共有し積み重ねてきた歴史がありますので、安心して入居していただける施設だと自負しております。



自立を基本に
入居者に寄り添う支援を



藤沢エデンの園
生活サービス課

くればやし かずや
紅林 和也
(34歳)

私は通常業務と並行して、支援が必要なご入居者のお手伝いを行う支援係を担当しています。一番館では自立した生活が基本ですが、例えば体調を崩されたとき、食事を居室へ運んだり、買い物代行したり、ご入居者本人と話をし、どこまで支援が必要かを決めていきます。体調が回復すれば、普段の生活に戻るケースも多いですが、介護保険サービスの適用を受けたり、二番館(介護居室)に住み替える場合もあります。私は2010年入職以来、ずっと介護の現場で働いてきました。二番館でも4年間の介護職経験があり、介護職員との連携も円滑です。園内のコミュニケーションが活発なので、ご入居者の介護前の状況を知ることが、その人らしさを大切に、スムーズに介護を受けていただくことができます。

一番館の生活サービス課に来て2年、つい手助けしてしまう部分がありますが、「自立が基本」と自分に言い聞かせながら、車いすや福祉用具の使い方など、介護の知識を生かした自立支援も行っていきたいと思っています。藤沢エデンの園は、看護師が24時間体制で、何かあればすぐに診てもらえますし、自立が困難になれば二番館に住み替えることもできます。ご入居者の皆さまには安心して今の暮らしを満喫してほしいと願っています。



藤沢エデンの園 周辺の初詣マップ

湘南地域には有名な初詣スポットがいっぱい!!
お散歩を兼ねて神社巡りをしてみてもはいかがでしょうか?



1 寒川神社



©公益社団法人藤沢市観光協会

あらゆる方角から降りかかる様々な災難から身を守ると共に、運を開き幸せをもたらしてくれる全国唯一の八方除の守護神。

2 鶴岡八幡宮



©鎌倉市観光協会

鎌倉を代表する神社として人気の観光名所。勝運・出世運にご利益があることも知られている。節分祭は多くの人でにぎわいます。

3 白旗神社



©公益社団法人藤沢市観光協会

厄除け・方位除け、学業成就・社運隆昌などのご神徳があるとされており、多くの方が参拝に訪れる。

4 江島神社



©公益社団法人藤沢市観光協会

日本三大弁財天のひとつを奉り、金運・仕事運・恋愛運を高める神社。その他にも厄除け、縁結び、学問上達などさまざまなご利益が期待できる。

5 大船観音



©鎌倉市観光協会

縁結び(良縁成就・夫婦円満)や安産祈願のご利益があり、高さ約25m、鉄筋コンクリート造りの聖観音上半身像が有名。



食 エデンの食卓 Eden's table



夕食A



夕食B

藤沢エデンの園の
ある日のお食事

藤沢エデンの園の
誕生会食



- 夕食A 太刀魚の真丈焼き
- 夕食B 牛すき焼き
- 共通 ごぼうの山椒煮 温泉卵 味噌汁 フルーツ寒天 ごはん

- 桜姫鶏のボスカイオーラ風
～木こり風ソースと鎌倉野菜～
- ごろごろさつま芋のケーキ など

毎日の食事に変化と彩り、ひと工夫。

食事は毎日のことなので、できるだけ飽きないよう、料理にひと手間、ひと工夫を加えるようにしています。食材は旬にこだわり仕入れられています。野菜は地元のものをメインに、魚は地元のものや愛媛県の松山のものを使い分けて取り寄せています。地元の魚も美味しいのですが、鯛やマアジ、ブリは質・鮮度が高く、地元で仕入れを行うよりも安く良いものを仕入れることができます。今回の太刀魚も鮮度が高く、そのまま塩焼きにしても美味しいのですが、真丈(魚のすり身)をサンドすることで、ふわっとした食感と味の変化を楽しめるようにしました。

献立作りでは、1日3食エデンの園の食事を召し上がるご入居者のことを考え、昼食に麺類やパン食、丼ものを増やし、夕食は定食形式にするなど変化をつけたり、時には外食チェーン店の人気メニューに挑戦したりと、1日を通して食事を楽しんでいただけるよう組み立てています。

藤沢エデンの園では、お正月などハレの日の行事食や、月に1回のお誕生会食にも力を入れています。調理師6人が持ち回りで担当し、各々が和食・洋食の専門分野を発揮する腕の見せ所でもあります。コロナ禍前にはマグロの解体ショーも大人気でした。制限のある中でも、ご入居者に少しでも楽しんでほしい、それが私たち食事サービス課職員一同の願いです。



食事サービス課 課長代行
岩淵 剛志

住 エデンの暮らし Life of Eden

[藤沢エデンの園] 共用部のご紹介



● レストラン

広々としたレストランは南側に大きな窓があり開放感があります。中庭を望むカウンター席もご用意しています。



● プレイルーム

自動の麻雀卓が2台設置されています。麻雀以外にカードゲームのブリッジなどのサークルでも利用されています。



● ウッドデッキ(2階)

コロナ以前はご家族やご近所の方をお招きして行う「納涼祭」の会場となっていました。



● 中庭(菜園)

中庭の中央から東側には菜園と花壇が広がります。四季を通して楽しむことができます。



● 中庭(あずまや)

中庭の西側にあり、近隣の小学生や小さなお子さんが遊びに来ます。散歩帰りの休憩にと立ち寄られる方もいます。

藤 沢

エデンの園から

お問い合わせ

詳細につきましてはフリーコールにお問い合わせください。
[月～金曜日9:00～17:00 土・日・祝を除く]



0800-888-2238

募集対象空室情報



[2023年1月1日現在]

2室入居可能

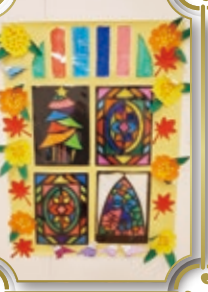
第12回 聖隷藤沢ウェルフェアタウン 作品展を開催しました

11月24(木)～11月28(月)、

「第12回聖隷藤沢ウェルフェアタウン作品展」を開催しました。

今年も感染症対策のため、観覧はご入居者・ご利用者のみとなりましたが、
絵画や書、写真など皆さまの素敵な作品の数々を出展いただきました。

また、ご入居者には作品展レイアウトのアドバイスや展示ボランティアなど
でもご協力いただきました。



職員の作品も作品展では人気です。
職員の意外な一面を見ることができます。